

平成29年度第2回 埼玉中部資源循環組合  
ごみ処理施設等建設検討委員会 会議録

担当 埼玉中部資源循環組合施設課

会議の名称	平成29年度第2回埼玉中部資源循環組合 ごみ処理施設等建設検討委員会
開催日	平成29年5月17日(水)
開催時間	午後2時40分開会 ・ 午後3時30分閉会
開催場所	吉見町福祉会館2階会議室
議長氏名	寺嶋均、委員長選任後は内野正美
出席者氏名 (出席者数)	建設検討委員会出席名簿のとおり(15名)
欠席者氏名 (欠席者数)	なし
オブザーバー氏名	(一財)日本環境衛生センター 速水草一
事務局職員氏名	根岸正己、牧嶋淳一、朝香学、久保島賢、吉田駿一郎
その他出席者	パシフィックコンサルタンツ(株) 山川宏、山崎貴裕
議事の記録方法	要点筆記
会議の内容	(挨拶) 寺嶋副委員長
	(協議事項) 平成29年度第2回埼玉中部資源循環組合ごみ処理施設等建設検討委員会次第のとおり
会議の内容	(協議結果)
	(1)建設検討委員会委員長の選任について 内野正美氏が委員長に選任された。  (2)事業方式について DBO方式の方針で次回の建設検討委員会にて提言書を取りまとめる。  (3)その他 ・先進地視察の開催について 視察先、日程について、事務局で調整し後日連絡する。

議事の要旨

司会(事務局)	1 開会 (午後2時40分)
寺嶋副委員長	2 あいさつ  あいさつ
事務局	3 協議事項  吉見町議会にて議員の改選があり委員長が空席となっている。議長を寺嶋副委員長にお願いしたい。
寺嶋議長	寺嶋副委員長が議長を務める。  (1) 建設検討委員会委員長の選任について 条例第4条の規定により互選を行う。ご意見をいただきたい。
委員A	事務局より腹案があれば聞きたい。
事務局	地元の吉見町議会選出の内野委員にお願いするということでしょうか。
事務局	(一同、賛成) 内野委員が委員長に選任。  内野委員長より挨拶。  以降の議長は寺嶋副委員長から内野委員長にお願いする。
事務局	(2) 事業方式について 資料に基づき説明。
委員B	経済性評価について、最近民間を活用するDBO、BTOの評価が高い。BTOはPFI勉強会でも説明があったとおり金利が高い。事務手続きの事務量は、公設公営と比較してDBO、BTOの方が煩雑になると資料にあるが、コンサルタントへの委託も考えられるのでさほど変わらない。  競争性の確保について、公設公営の場合、施設を建設した企業に

	<p>維持管理も任せざるを得ないことがある。よって、企業の言い値での対応となり維持管理費が割高になる傾向がある。対して、DBO、BTOの場合は建設契約前の競争で長期の維持管理費を決めることが出来る。また、維持管理の仕方も変わってきており、従来よりも長く施設を維持管理してもらうことも可能である。総じて、DBO、BTOは競争原理の中で最適化できる。ただし、BTOの場合は、民間への貸付となるので金利が公共の貸付金利より3%ほど多くかかり、試算においても約9億円の差が出ると考えられる。</p> <p>事業の柔軟性について、公設公営が「○」、DBO、BTOが「△」、となっているが評価は逆だと思う。物価変動等の改正方法についてDBO、BTOは契約前に事前に示しているの、それに基づいてやるのが基本となる。これに対して、公設公営の場合は毎年、物価変動について改定協議をして委託料を算出しなければいけない。この他、加入意向からもBTOよりもDBOの方が良いと思う。</p>
委員C	<p>民間事業者の参入以降について、BTOは調査対象企業5社すべて参入の意向がないとある。前回資料には、2社からBTOの回答をもらっているとある。調査対象企業数の整合性の説明をしてほしい。</p>
事務局	<p>回答企業5社のうち、BTOへの参入意向調査で参入意向がないと回答した企業が5社、そのうちBTOの事業費調査に回答があった企業が2社という意味。</p>
委員B	<p>関連した補足だが、仮に1社しか参入意向がない場合、それはそれで問題。また、BTOの場合は、公共施設でありながら民間主導となる。その点も良いのかという観点も重要かと思われる。</p>
委員D	<p>VFM算定において運営期間は何年を想定しているのか。 VFMが勉強会の事例と比べて少ないと感じる。 財政支出の平準化について、DBO方式の「平準化は可能であるが、一般的には事業者提案に基づき、出来高に合わせた支払いとなることが多い。」という文言に矛盾を感じる。 事業の柔軟性について、物価変動・法令変更に対応できるのか、具体的にどのような事態を想定しているのか。</p>
事務局	<p>運営期間は20年を想定してVFMを算定した。 VFMの算定について、DBO、BTOともに算定条件を厳しくして算出した。今後、提案可能余地を提示していく中で、VFMをより増やしていけると考えられる。</p>

<p>オブザーバー</p>	<p>財政支出の平準化に関する記載について、他事例から最近の傾向を記載したもので、平準化した算出方法より出来高に合わせた算出が一般的であることを示している。支払い方法は、今後の検討によるが、組合にとって最適な方法を決めていく事も可能と考える。</p> <p>物価変動・法令変更への対応について、物価変動は、計算式等の基本的な考えを要求水準書に盛り込む方向で対応しようと考えている。法令変更は、環境基準の変更等が考えられる。要求水準書等の中で整理していきたい。</p> <p>財政支出の平準化について補足だが、維持管理費は年数を重ねるにつれて高くなる。これを考慮せずに平準化すると運営初期は黒字、年数が経つと赤字になる。運営会社とそのあたりを今後整理する必要がある。</p>
<p>委員 E</p>	<p>これまでの説明から D B O 方式が良いと考える。</p> <p>事業方式について、事務局の考える方向性があれば聞きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局としては、事業方式について白紙の状態。あくまで、建設検討委員会の中で検討し、事業方式の方向性を提言いただきたい。最近の事業方式の実績として、約 7 割の自治体で D B O 方式を採用している。このような現状から、D B O 方式は事業方式の選択肢から外せないと考える。ただし、最終的には正副管理者会議の中で決定したいと考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>4 その他</b></p> <p>先進地視察候補地について説明。</p> <p>補足として、今後の予定としては視察後、第 3 回建設検討委員会の中で事業方式をまとめてほしい。市町村議会の日程を考えると 6 月下旬から 7 月上旬が最適かと思うがいかがか。</p>
<p>委員 F</p>	<p>28 日、29 日を避けてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>承知した。対象者は P F I 勉強会と同様のメンバーを考えている。</p>
<p>内野議長</p>	<p>視察先、日程について、事務局に一任でどうか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>

事務局	<p>事業方式については、DBO方式の方向性で間違っていないようなら、提言書作成の準備を進めていきたいがよろしいか。</p> <p>(一同、異議なし)</p>
内野議長	<p>本日のPFI勉強会と協議結果を踏まえDBO方式とする方針でよいか。</p> <p>(一同、異議なし)</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">(午後3時30分終了)</p>